

【ワクワクプロジェクト】R2. 2. 8《兵庫支部》公開保育・講演会

〈公開保育・研究協議〉

神戸大学附属幼稚園での公開保育と研究協議が行われました。



「遊びの中の学びを探る～発表会に向けた取組の中で、資質・能力の発揮、伸長を支えるために～」のテーマのもと、参観した遊びごとのグループに分かれて話し合いました。

どのような学びがあったか、資質能力を発揮していることはどのような姿かなどについて付箋に書き出し、協議を進めていきました。同じ場面を参観したことで、参加者が活発な意見を出し合うことができ、有意義な時間となりました。

〈講演会〉

講師 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授 北野 幸子 氏

演題 「遊びの中の育ちと学びをみとる ～生活発表会について共に考えよう～」

北野先生の講演会では、これからの時代を生きる子供たちに育みたい力は、暗記型ではなく活用型で“自分で考えること”“自分で決めること”“自分で行動すること”、また、自尊心・思いやり・自制心も幼児期にこそ育むことが必要であることをお聞きし、改めて日々の保育の中で教師としてどのように幼児に関わっていくことが大切であるかについて振り返ることができました。また、思春期にはアイデンティティーが確立され、自分のやりたいことを他者との比較や関係から考えていくようになる。そのため、自己中心性の強い2歳児の時期から思う存分自己を発揮し、満足することにより非認知能力を育むことが大切であるというお話でした。遊びの中こそ学びがあるということを再確認しました。さらに、幼稚園での生活や遊びの中で、教師は指示命令ばかりしていないか、幼児にとって与えられた経験だけになっていないか、できないことや自分と違う趣味・嗜好・考えに否定的ではないか、いざこざ経験を蓄積して待つ力や譲る力、人の役に立つ喜びや感謝する心、感謝されて嬉しい心が育っているかという課題をいただきました。“できた、できない”と他者との比較で自己評価するのではなく、自分の好きなことや得意なことを友達と一緒にすることが楽しいと存分に感じられるようにしていくことが幼児期には大切であると感じました。幼児の自主性と主体性を育み、幼児自らの意志で自ら選び、考え、創造することができる環境を保障していくこと、幼児同士が互いの思いや考えを理解し合えるように振り返りの時間を大切にし、育ち合い、学び合える関係性づくりをしていくことなど、北野先生のお話から多くのことを学びました。

北野先生、貴重な学び合いの機会をありがとうございました。

